

「作花」改姓300周年企画展

観覧無料

作花家の古文書

付論 伝楊井三之允愛用品

令和8年10月23日（金）～12月26日（土）

休館日 月曜日・祝日・11月24日（火）

開館時間 9時～17時

●ギャラリートーク

10月24日（土）・11月21日（土）・12月13日（日）

いずれも11時～（30分程度）。内容はそれぞれ異なります。

事前申し込み不要。時間までに展示会場までお越しください。



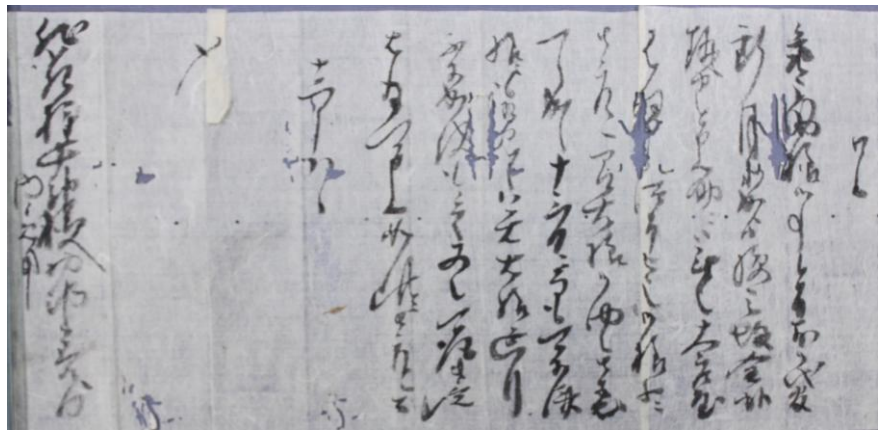
大庄屋になるために

当館が収蔵している「作花一男旧蔵文書」（通称「作花家文書」）は、現在の山陽小野田市西高泊にある勘場屋敷に代々居住していた家に残された古文書群です。

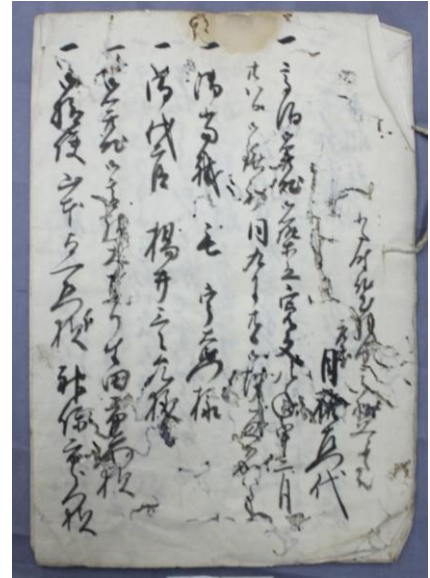
古文書群の中には、寛文8年（1668）より始まる高泊開作事業に関するものなど内容は多岐にわたっており、旧小野田市域に残された古文書の中でも特に地域の歴史を知る上で貴重なものといえます。

作花家は、元々は「目（さっか）」と名乗っていたようで、享保11年（1726）に藩命により「作花」と改姓したといわれています。本年はこれより300周年にあたる年で、それを記念して「作花家文書」を紹介する企画展を開催します。

なお、付論として、同じく勘場屋敷の作花家に伝わった「伝楊井三之允愛用品」も展示します。



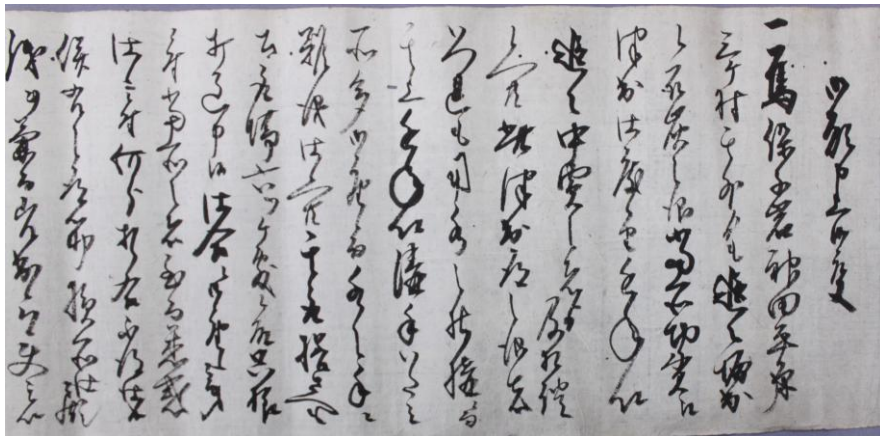
大庄屋見習被仰付二付口上 文政4年（1821）



後の開作事業の
先例となった高泊開作

高泊開作覚書
文化14年（1817）

石炭と開作地の苦難



高泊村歎願書（部分） 江戸時代末～明治初期

～付論 伝楊井三之允愛用品～



筆立 館蔵

山陽小野田市 歴史民俗資料館

Sanyo - Onoda City Museum of History and Folklore

〒756-0802 山口県山陽小野田市栄町9-21 【TEL】 0836-83-5600

【WEB】 <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/rekimin/>



【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜（祝日の場合 その翌平日も休館）
・祝日（土曜日の場合は開館、月曜日を除く翌平日が休館）
・年末年始（12/27～1/5）

【交通アクセス】

- 電車
JR小野田線「南中川駅」下車、徒歩約7分
- バス
「硫酸町」バス停下車、徒歩約3分
- 車
山陽自動車道「小野田IC」より 約10分
（無料駐車場有・大型バス可）

